

出雲北陵月報

No. 392

平成30年4月27日
出雲北陵中学高等学校
土江明文社 印刷

第23回中学校 第110回高等学校 入学式挙行

陽光うららかに降り注ぎ、春の息吹が身体一杯に感じられる4月10日、平成30年度出雲北陵中学・高等学校



学校長式辞

入学式が挙行された。本年度は中学校22名、高等学校192名合わせて214名の新生を迎えた。式典には本校高等学校PTA会長の青木治様をはじめ、本校に所縁



中学校新入生代表
荒木天花さん

の深い多くの方々の御臨席を賜り、新生の門出を祝福していただいた担任からの呼名の後、水谷厚志学校長より入学が許可され、続いて式辞では「自身の未来を切り拓くために、大きな志を持って本校でしっかりと勉学に励んで欲しい。夢や目標を持ち、その達成に向け信念を持って努力し、挑戦、失敗、反省と創意工夫を繰り返しながら成長して欲しい。」と激励の言葉が贈られた。また、水谷勲理事長からは、「目標や目的に向かって『ひたむきな心』で取り組み、夢中になれるものを見て欲しい。」とお祝いの言葉が述べられた。



高等学校新入生代表
奥井寛太君

新入生を代表して、中学校からは荒木天花さん(灘分小)、高等学校か

入学を祝して



高校教頭
松本 克己

らは奥井寛太君(出雲南中)が、それぞれ入学の決意を力強く宣誓した。例年になく暖かい日が続き、桜も驚いて目を覚ましました。桜の薄紅のかわいらしい花びらを見ると新しい年がまた訪れたことを感じます。新入生、高校192名、中学22名を迎えた。本校の平成30年度もスタートしました。今年は何んな年になるのだろうか。皆さんの輝く瞳を見つめながら毎年思います。

新入生の皆さんご入学おめでとうございます。どんな思いを胸に本校の門をくぐったのでしょうか。期待と不安の入り混じった複雑な感情でしようか。三年間はあつという間に過ぎ去ります。だからこそ、時の流れの中の一瞬に想いを込めて欲しいと思います。水谷勲理事長先生のお祝いの言葉の中に「ひたむきな心」という表現がありました。十代でひたむきであることは非常に難しいことであると思います。ただ、もし「ひたむきな心」を抱いて精進できたとしたら、自分の想像を超えた自分に出逢えるように思います。自身にひたむきであることは、どんなものよりも柔しく剛いと思うのです。青春時代は自分探しの壮大な旅です。どんな自分に逢えるのかは皆さん一人ひとりの心の在り方ひとつで、どうとも変わるのではないでしょう。誰かが言いました。「青春は振り返った時に微笑であれ」と

今は前を向き、ひたすらに想いを込めて学校生活を生きて欲しいと思います。その先に待つ新たな我との出逢いを信じて、たくさんの思い出と想いに満ち溢れた素敵な三年間であることを祈っています。

なぎなた部

第13回全国高等学校なぎなた選抜大会

於 3月24・25日
伊丹スポーツセンター

全国の舞台で個人3位、団体5位と健闘!

- 〈個人競技の部〉
- 原 出穂(35歳) 3位入賞
- 青戸真実(35歳) 3位入賞
- 日野愛理(22歳) 3回戦敗退
- 〈団体試合の部〉
- 準々決勝
- 本校 0-1 福徳学院 5位入賞

○大会総評
今大会は団体優勝、個人3連覇を目標に挑んだ大会であった。結果、団体では昨年に続き5位入賞。個人では原と青戸が3位入賞。両者ともに首里高校の選手に敗れ決勝進出を逃したものの、出雲北陵の強さを見せてくれた試合であった。



3位入賞の青戸、原

今回の結果に満足することなく、今後も目標『日本一』を目指し稽古に励みたいと思う。たくさんのご声援有難うございました。

(顧問 井上美代)

なぎなた部

第35回若獅子旗なぎなた大会

時 3月25日
於 アクシオン福岡

中学団体初優勝!

〈個人中学生の部〉
森本あか音(15歳)
豊田 詩月(中2姉)
〈演技中学生の部〉
森本・豊田組
川上友風(中2妹)・衣笠ことね(中2妹)組
3 回戦敗退
2 回戦敗退
〈団体中学生の部〉
決勝 本校 0-10
養徳館

○大会総評

今大会では中学生が団体戦で初優勝を果たした。決勝は3名とも引分け、代表戦までもつれ込んだが、森本が判定2-1で勝利。会場を沸かせる良い試合をしてくれた。応援有難うございました。



団体優勝 (森本、豊田、川上、衣笠)

(顧問 井上美代)

卓球部

第45回全国高等学校選抜卓球大会

時 3月25、28日
於 福井県営体育館

【男子団体】
〈予選リーグ〉

本校 3-0 高岡龍谷 (富山)
本校 3-1 2 聖和学園 (宮城)
本校 2-3 3 鎮西学院 (長崎)

○大会総評
中国地区代表として、2年ぶりに全国選抜に出場した。結果は惨敗であったが、選手は最後まで決して勝負を諦めず、立派に戦った。この経験を生かして、イン

ターハイでは上位進出できるよう頑張りたい。
(顧問 古瀬泰之)

一年生担任挨拶

中学校



中学校一年生担任
妹尾 一希

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。さあ、いよいよ中学校生活が始まりますね。楽しみですか?それぞれ目標に向かって頑張る皆さんを全力でサポートし、応援していきます!
どんなときでも「準備万端!」万全な準備なしで、得られるものはありません。一度しかない中学校生活です。全力でやり切ろう!



一年一組担任
井上 美代

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これから始まる高校生活に期待や不安、様々な気持ちで過ごしていると思います。この3年間は大人への準備期間だと思えます。成功もあれば失敗もあります。前へ向かっていく皆さんの支えとなれるよう私も努力し、共に成長できる高校生活を送れたらと思います。一年間よろしくお願ひ致します。



一年二組担任
佐々木雄志

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これから始まる高校生活3年間は、皆さんの長い人生の中でも大きな

分岐点となると思います。いろいろなことにチャレンジし、自分を磨き、成長されることを期待しています。当たり前前のことを当たり前に行えるクラスを目標に、皆で切磋琢磨し、最高のクラスにしていきたい。私も皆さんの夢が実現できるよう、最後まで精一杯サポートさせていただきます。



一年三組担任
福岡 宣弘

入学おめでとうございます。今から3年前、当時の1年3組の担任となりました。そこから2年3組・3年3組の担任を経て、再び1年3組の担任を務めさせていただきます。3組というものに大変深い縁を感じています。人との出会いに感謝しつつ、たった3年しかない貴重な高校生活を大いに実りあるものにしていきましょう。これからの1年間、よろしくお願ひ致します。



一年四組担任
柳樂 正也

新入生の皆さん、3年間の高校生活で何を成しましょうか?
自ら考え意識していけば、あらゆる活動が皆さんを成長させるものとなります。一日一日を振り返り、何を学んだのか、何を果たしたのかを実感し、将来の目標を実現させるために頑張ります。
私達は一生懸命頑張る皆さんを全力で後押しします。



一年五組担任
泉 一則

入学おめでとうございます。高校生活

は人間形成の場・自分の将来を決める重要な場です。そのためにも人生の中で特に大切なこの3年間を、楽しく充実したものに、また、未来に繋がるものにして欲しいと思います。本校には様々な学びの場、活躍の機会が用意されています。それらをどう生かすかは皆さん次第です。仲間と共に多くの経験を通じて、自らを鍛え、成長させてください。
私達は皆さんを全力でサポートします。共に歩んでいきましょう。



一年六組担任
竹内 康貴

ご入学おめでとうございます。山陰で唯一の芸術コースへの進学を心より歓迎します。

皆さんは大きな時代のうねりの中にいます。学習内容は大きく変化し、3年後は大学入試の方法も今までのものと別物になります。皆さんはそんな激動の中にもいますが、この荒波に負けることなく、精一杯努力し、夢を実現しましょう。我々は努力する皆さんを精一杯応援します。一緒に頑張りましょう!

オーストラリアより留学生来校



オーストラリアのキャンベラより留学生が来校しました。4月から8月3日まで本校に通いながら、生徒と同じ授業を受けます。また、中学校の英会話の授業にもアシスタントとして参加したり、様々な行事にも参加する予定です。

氏名...タリー・マリンス(15歳)
生年月日...2002年5月14日
所属...キャンベル高校
在籍クラス...1年5組
趣味...読書、ホッケー、ドラマ演奏
好きな教科...歴史、数学

平成29年度
オーストラリア姉妹校短期
体験学習とホームステイ

隔年で実施しているこの研修旅行ですが、今年度は3月9日から27日の19日間で実施しました。参加者は1年生が4名、2年生が6名の計10名でした。参加した生徒の感想を紹介します。

オーストラリア短期留学から学んだこと

多和田さくら(25歳)

3月9日、いよいよ待ちに待ったオーストラリア短期留学。不安と期待を抱えて日本を出発しました。ホームステイ先の人達や、学校の人達とうまく英語で話せるのか心配でしたが、現地の人達が分かるようにゆっくり話してくださって、会話がきちんとできました。

現地の学校での授業はほとんどが英語だったので、聞き取ることが難しかったです。ホームステイ先では、日常的な会話に加え、日本についての色々な質問をされ、どうやって説明するか迷いました。ジェスチャーや単語を並べて一生懸命に伝える努力をしました。

これまで英語で会話することに苦手意識がありました。今回の留学で少し克服できたと思います。また、何か分からないことがあっても、自分で相手に一生懸命伝えようとすることが大切と感じました。

オーストラリア短期留学を終えて、学んだことが一杯あり、いい経験をさせてもらい感謝の気持ちで一杯です。良い経験をさせていただき有難うございました。



短期留学参加者

特別進学コース
春季進学勉強特訓



特別進学コースでは、これまでの「春季進学合宿」に替えて、本校を会場として「春季進学勉強特訓」を実施した。



講演の様子

「特訓」に先立ち、大手予備校で東大・京大クラスを担当されていた蔵下克哉先生をお招きし、大学入試の現状と新入試制度についてご講演いただいた。「これからは『行ける大学』ではなく、『行きたい大学』を目指す時代」、また「今後の社会で求められるコミュニケーション能力を身につけるには国語力を高め、能動的な勉強をすることが必要だ」というお話に、生徒達は真剣な表情で聞き入っていた。生徒達は2日間で計18時間に及ぶ学習をやり遂げた。新学期に向けて生徒達の意識を高める有意義な2日間となった。

H29年度
音楽コース
クマノカサート

時 3月11日
於 北陵ホール

本年度も、恒例となった音楽コースによるクラスコンサートを開催した。音楽コース1・2年生一人ひとりが1年間の学習の成果を披露した。それぞれが自信に満ちた個性豊かな演奏を披露し、今後の活躍が期待できるコンサートとなった。今後も、更に成長する姿を見守りたい。

第16回進級展

時 3月17・18日
於 出雲文化伝承館縁結び交流館

美術部

年度の最後に進級を記念し、美術・C Gデザインコース並びに美術部による美術展を開催し、絵画、デザイン、映像、立体等、個性溢れる作品を展示した。会期中は多数のご来場を賜り、盛況のうちには終えることができた。この場を借りてお礼申し上げます。(顧問 石倉 正)



会場の様子

新任紹介

金森 快
(教科：商業)

4月に着任致しました金森快と申します。これまで県内の中学・高校に勤務しており、教職10年目になります。新しい環境でのスタートに不安もありますが、自分のできることを精一杯頑張りたいと思います。生徒の皆さんと共に学び、たくさんの時間を共有できたら幸いです。クラス担任もさせていただきますことになりました。生徒・保護者の皆様よろしくお願致します。

三島圭一郎
(教科：数学)

今年度から着任致しました、三島圭一郎と申します。公立の中学校で7年間経験を積んで参りました。担任と部活動の顧問を任せていただき、とてもわくわくしています。チャレンジ精神を忘れず、一日一日を大切に、みなさんと共に学び、一緒に成長していけたらと思っております。

平成30年度 学級担任

学年	主任	担任等		学級							
		正担	副担	1普通	2普通	3普通	4普通	5特進	6芸術(音・美)		
中1	飛石	正担	妹尾	井上	佐々木	福間	柳樂	泉	竹内		
		副担	飛石	陶山	勝部	古瀬	飯塚	尾添	飯塚		
中2	飛石	正担	鈴木	1普通	2普通	3普通	4普通	5特進	6芸術(音・美)		
		副担	八木	(情報・保育)	(教養・看護)	(教養)	(進学)				
中3	飛石	正担	三島	正担	相場	金森	酒井	松井	篠原	遠藤	石倉
		副担	手銭	副担	黒崎	黒崎	別所	伊藤	黒崎	田邊	石橋
高1	飯塚	主任	担任	1普通	2普通	3普通	4普通	5特進	6芸術(音・美)		
		担任	担任	(情報・保育)	(教養・看護)	(教養)	(進学)				
高2	黒崎	正担	金森	酒井	松井	篠原	遠藤	石倉			
		副担	黒崎	別所	伊藤	黒崎	田邊	石橋			
高3	春日	主任	担任	1普通	2普通	3普通	4普通	5特進	6芸術(音・美)		
		担任	担任	(情報・保育)	(教養・看護)	(教養)	(進学)				
高3	春日	正担	椿	畑	村上	西村	岩成	多々納			
		副担	春日	中川	石川	春日	岡由	原田			

す。よろしくお願致します。

大菅 藍
(教科：音楽)

今年度から本校で勤めさせていただくことになりました。授業や部活動で関わる事が多いと思いますが、日々の生活や学校行事で皆さんと一緒に楽しみながら成長できればと思います。何事にも精一杯、全力で取り組んでいきます。よろしくお願致します。

非常勤講師
勝部 恵子 (教科：看護)

作品と研究

「出雲北陵中学校に入学して」

荒木 天花(14歳)

私はこの春、この出雲北陵中学校に入学しました。北陵中は、学校全体が明るいのです。クラスの仲間は、みんな仲が良く、朝教室に入ると、いつもにぎやかです。先輩方も優しく、困ったことがあると助けてくださいます。先生方の授業もおもしろく、毎日がとても楽しいです。

この中学校で、私は勉強と部活動の両立を頑張りたいです。勉強は予習・復習をきちんとして、テスト勉強も計画的にするようにしたいです。部活動では、全力で取り組み、お世話になっている方への感謝の気持ちを忘れないようにしたいです。

私は中学校で周りに気配りができず、みんなに信頼される人になりたくて、のために、誰にでも分け隔てなく接し、人の気持ちを考えて行動したいです。

これからの中学校生活で、大変なことがあっても乗り越え、楽しい時は全力で楽しみ、毎日成長できる充実した三年間を送りたいと思います。

「出雲北陵高校に入学して」

出川 拓真(14歳)

私が北陵高校に入学した理由は二つあります。一つ目は学習面です。北陵高校には、勉強をする良い環境が整っていると聞いたからです。私は中学生の頃はあまり勉強ができませんでした。しかし、北陵高校で真面目に学習すれば、進学も夢ではな

いと思います。なので、授業を集中して受け、夢を達成したいと思っています。

二つ目は部活動です。中学生の時は、ソフトテニス部に所属していましたが、大会に出場したことは数えるほどしかありません。最後の市総体では、一回戦で敗退しました。その時に、ソフトテニスをこんな形でやめたくないと思いました。北陵高校のソフトテニス部には、高校で伸びた人もたくさんいると聞きました。先輩もおられたので、ますますこのチームで頑張りたいと思いました。

この二つが、入学を決断した大きな理由です。合格発表の日は、本当に嬉しかったです。あの時の気持ちを忘れないように学習も、部活動も頑張ります。

永瀬 令奈(15歳)

私が出雲北陵高校に入学したのは、先生が一人ひとりに丁寧に教えてくださり、また、どの学校よりも学習環境が整っているため、より学習に力を入れることができると思ったからです。

最初は授業のスピードについていけないのか、友達と上手くやっていけないのかなど、たくさん不安がありました。ですが、実際入学し、いろいろな先生の話を聞き、どの先生も生徒思いで、学習する上で大切なことや生活・態度面で意識しなければならぬことを知ることができました。そして、出雲北陵高校は当たり前前のことが当たり前に行えること、とても大切にされていることが分かりました。だから私も学習面だけで

なく、社会に通用する人材になれるよう、当たり前に行えることの質を上げ、できることをこの三年間で増やしていきたいと思っています。

今はまだ、授業が始まったばかりで高校生活に慣れていないこともありませんが、これからたくさんの方を学んでいく中で、分らないところは積極的に先生・友達に聞き、一人で頑張るのではなく、周りの友達と共に成長できるといいと思います。高校は、中学校のように義務教育ではないため、自主的に自分が学びたいことを学ぶ場です。私は将来大学へ行くために、そして夢を叶えるためにこの学校にきました。これまでに以上のような物事に関心を持ち、積極的に学んで楽しく高校生活を送れるよう、また約3年後に自分が想像している人間になれるよう、日々の努力を惜しまず、また自分を客観的に見て頑張っていきたいと考えています。

私が出雲北陵高校に入学しようと思った理由は自分の得意なことを伸ばしたいと考えたからです。私は絵を描くことが好きなので、これから絵について専門的に多くのことを学び、自分の力を伸ばしていきたいと思っています。そのためにも頑張りたいことは、画力を上げることです。画力を上げるために毎日コツと絵を描くだけではなく、基礎を学び、必要な知識を吸収して、苦手なこともあきらめず、「毎日頑張るぞ」という気持ちで努力していきます。

勝部 響(16歳)

勉強は分らないところをそのままにせず、一日の授業を大事に聞き、

予習復習もして、提出物もきちんと出していかなければいけません。美術を続けていくためには、勉強もおろそかにせず頑張りたいと思っています。

高校に入って慣れないことばかりです。中学校に比べて自分で考えて行動しないといけないことが多くありました。先生の話聞き逃さないようにメモをとったりしながら頭に入れ、これからの高校生活で後悔の涙を流すことがないように気を引き締め、3年間頑張っていきたいと思っています。

今月の1枚

「キメ顔」

吾郷 眞菜(22歳)

